

第八十一回 帝國議會 昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲委員會議錄(速記)第三回

昭和十八年二月四日(木曜日)午前十時二十
分開議

出席委員左ノ如シ	理事大橋清太郎君	理事南伊藤五郎君	鐵太郎君
赤間徳壽君	坂口平兵衛君	金光邦三君	忠吉君
長内健榮君	田部朋之君	高木義人君	中西敏憲君
遠山暉男君	松田正一君	森川仙太君	恒二君
森部隆輔君	出席政府委員左ノ如シ	朝鮮總督府財務局長	臺灣總督府總務長官
谷口	大藏次官	臺灣總督府財務局長	臺灣總督府總務長官

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
營繕用品資金特別會計法案(政府提出)
造幣局ノ資金ニ關スル法律案(政府提出)
昭和十五年法律第六十九號中改正法律案
(大東亞戰爭ニ關スル一時賜金トシテ交
付スル爲公債發行ニ關スル件)(政府提
出)

信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及
郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關
スル件(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)
朝鮮簡易生命保險及郵便年金特別會計法
案(政府提出)

臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)
臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律
案(政府提出)

○矢野委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、通
告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス——森川
君

○森川委員 私ハ公債政策ノ將來ニ付テ當

権太内地行政一元化ニ伴フ権太廳特別會
計ト他ノ會計トノ關涉ニ關スル法律案(政
府提出)

昭和十二年法律第八十號改正法律案(通
テ順調ニ參ツテ居リマスル趣キヲ伺ヒマシ

付託議案

昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

(政府提出)(第二號)

營繕用品資金特別會計法案(政府

造幣局ノ資金ニ關スル法律案(政府

提出)(第二四號)

昭和十五年法律第六十九號中改正

法律案(政府提出)(第三號)

昭和十二年法律第八十號改正法律案(政

府提出)(第三一號)

和十二年法律第八十號改正法律案(政

府提出)(第三二號)

朝鮮簡易生命保險及郵便年金特別會計法
案(政府提出)(第三四號)

臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律
案(政府提出)(第三七號)

正臺鐵事業公債法中改正法律案(政府提
出)(第三三號)

正臺鐵事業公債法中改正法律案(政府提
出)(第三六號)

正臺鐵事業公債法中改正法律案(政府提
出)(第三七號)

テ、洵ニ邦家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘナイ所デア
リマス、關係各位ノ御努力ニ對シテハ深甚
ナル感謝ト敬意ヲ表スルモノデアリマス、
併シ私ハ將來益多額ノ公債ヲ消化セシメナ
ケレバナライ現狀ニ於テ、果シテ今マデ
通リノ方法ニ依ツテノミ其ノ目的ヲ完全ニ
達シ得ルカドウカト云フコトニ多少ノ不安
ナキヲ得ナイノデアリマス、即チ公債消化
ノ末端ニ於テ色々ノ不平不満ノ聲ガ巷ニ相
當氾濫シテ居ルノハ事實デアリマス、現在
東京市内ニ於テ質流レ品ノ一番多イノハ公
債デアルトモ言ハレテ居リマス、又年末賞
與トシテ支給サレタ公債ハ社員ノ歸リヲ門
前ニ待受ケテ居ル公債屋ノ出張員ニ、直チ
ニ安價デ買殺サレテ、徒ラニ不當ノ利得ヲ
得セシメテ居ルト云フヤウナ噂モアルノデ
アリマス、其ノ他町内會、或ハ隣組等ニ於

テ公債ノ割當デ相當ノ紛糾ヲ見テ居ルト云
フコトモ是ハ少クナシ事實デアリマス、是
等ノ如ク國民ガ積極的ニ公債ヲ持ツト云フ
希望ヲ持タナイ原因ハ、端的ニ申シマシタ
ナラバ、公債ヲ持ツコトヲ餘リ好マナイト
云フ原因ハ勿論多々アルト思ヒマスガ、私
ハ最モ其ノ主ナルモノハ公債ニ對シテ將來ノ
不安ヲ持ツテ居ルカラデハナイカト思フノ
デアリマス、巷間斯ウ云フ噂ガ流布サレテ
居リマス、ソレハ前歐洲大戰ノ時「ドイツ」
ハ盛シニ國債ノ國家奉獻運動ガ行ハレ、道
路ノ傍ニ火鉢ヲ置イテ、其處ヲ通ル人ガ公
債ヲ投入レテ燒却シテ、國家ヘノ債權ヲ拋
棄シタサウデアリマスガ、日本ニモサウシ
タコトガ起ルノデハナイカト云フヤウナ噂
デアルノデアリマス、若シソンナ運動ガ起
ツタリシマスト、國策ニ最モ協力シテ公債
ヲ多額ニ買ツタガ非常ニ苦シイ立場ニ立
是等ハ勿論一部ノ極端ナ悲觀的例ヲ舉ゲタ
ス、勿論當局ハ之ニ對シテ確乎タル信念ヲ
御持チノコト存ジマスガ、國民ガ舉ツテ
悦ンデ公債ヲ持チ、悅ンデ國策ニ協力スルヤ
ウナ光明ノアル案ヲオ立テニナツテハドウ
カト思フノデアリマス、私ハ其ノ一ツトシ
於ケル敵産ハ不動産ヲ除キマシテ建物ハ勿
論不動産デアリマスガ、是ハ入レテ建物其
ノ他ノ動産ヲ合シマシテ、五百億圓以上ニ
達スルト云フコトデアリマス、是ハ正確ナ

「マライ」半島デサヘスクノ如キ莫大ナル額
ニ上ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ他ノ分
ヲ合セマシタナラバ、恐ラク吾々ノ想像ヲ
絶スル多額ノ素晴ラシイ額ニ達スルコトト
信ズルノデアリマス
其ノ一ツヲ取ツテ、例ヘバ「マライ」開發
株式會社トデモ云フヤウナ資本金一百億、
或ハ三百億ノ一大國策會社ヲ作ツテ、其ノ
株式ヲ公債所有者ニ優先應募セシムルト云
フヤウナコトヲヤツテハドウカト思フノデ
アリマス、勿論此ノ會社ニ對シテハ保護ヲ
與ヘテ事業ニ着手シテカラ或ル適當ナ時期
マデ或ル程度ノ配當ヲ保證シテヤルト云フ
コトモ必要ダト思フノデアリマス、サウシ
テ差當リ二百億ナリ三百億ノ公債ヲ其ノ株
券ニ振替ヘテ銷却スルト云フ方法ヲ採ラレ
テハドウカト思フノデアリマス、次ニハ其
者ニ非常ニ興味ト、安心ト、有利感ヲ與ヘ
ルト云フヤウニ致シタイト思フノデアリマ
ス、勿論當局ハ之ニ對シテ確乎タル信念ヲ
アリ、必ズ日本ガ勝抜キ得ル戰ヒデアルコ
トハ事實デアリマス、隨テ私ハ今後公債ガ
或ハ一千億、或ハ二千億ニナリマシテモ、
シテモ是ガ圓滿大ナル消化ニ付キマシテハ
共ニ非常ニ増加致シマシテ、當局ト致シマ
ノ御質問デアツタト存ズルノデアリマスガ、
申スマデモナク國債發行額ガ戰費ノ増大ト
シテモ是ガ圓滿大ナル消化ニ付キマシテハ
各方面ニ配意致シ、非常ナ努力ヲ續ケテ居
ルノデアリマスガ、御承知ノヤウニ今日マ
デ大體順調ナ消化ヲ示シテ居ルノデアリマ
ス、殊ニ昨年ハ支那事變始マツテ以來ノ好
成績デアリマシテ、國債ノ消化ハ今ノ所非常ニ
旨ク參ツテ居ルト申上げテ差支ヘナイト思
フノデアリマス、然ラバ將來尙ホ多額ノ國債
發行ガ豫想セラレルノデアルガ、之ニ對シ
テノ確信ハ如何ト云フコトデゴザイマスガ、
勿論國債ノ發行ニ當リマシテハ、戰費其ノ
他ノ各種國家ノ經費竝ニ物トノ關係、或ハ
又國民所得ノ關係ヲ見マシテ、國家資金ヲ
概定致シマシテ、國家ノ財政資金ニ幾ラ、
或ハ產業資金ニ幾ラ、國民消費ニ幾ラト云
モ非常ニ役立チ得ルノデハナイカト思フノ
具體的ノ一ツノ安心感ヲ與ヘルト云フ點ニ

「マライ」半島ニ於キマシテ之ヲ消化スルコ
ルカ、第二ニ大衆的ノ富籤ナドモ其ノ一ツ
ヲ合セマシタナラバ、此ノ消化ハ十分ニヤツ
スル多額ノ素晴ラシイ額ニ達スルコトト
信ズルノデアリマス
其ノ一ツヲ取ツテ、例ヘバ「マライ」開發
株式會社トデモ云フヤウナ資本金一百億、
或ハ三百億ノ一大國策會社ヲ作ツテ、其ノ
株式ヲ公債所有者ニ優先應募セシムルト云
フヤウナコトヲヤツテハドウカト思フノデ
アリマス、ソレカラ第三ニ私方只今申上げ
タヤウナ大規模ナ國策會社ヲ作ツテ國債ノ
消化ニ充テルト云フヤウナ案ニ對シテハ、
ドウ御者ハラ持ツテ居ルカト云フ、以上ノ
三點ニ付テ當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒ
マス
○田中(豐)政府委員 只今國債ノ發行額ガ
巨額ニ上ツテ、是ガ消化ニ一般大衆ガ色々
不安ヲ持ツ、當局トシテ將來ドウ云フ確信
ガアルカ、色々御示シニナリマシタヤウナ
ノ戡定ヲ俟ツテ又「ユーニギニヤ」ノ開發株
式會社ヲ作ルト云フヤウニシテ、公債所有
者ニ非常ニ興味ト、安心ト、有利感ヲ與ヘ
ルト云フヤウニ致シタイト思フノデアリマ
ス、勿論當局ハ之ニ對シテ確乎タル信念ヲ
アリ、必ズ日本ガ勝抜キ得ル戰ヒデアルコ
トハ事實デアリマス、隨テ私ハ今後公債ガ
或ハ一千億、或ハ二千億ニナリマシテモ、
シテモ是ガ圓滿大ナル消化ニ付キマシテハ
共ニ非常ニ増加致シマシテ、當局ト致シマ
ノ御質問デアツタト存ズルノデアリマスガ、
申スマデモナク國債發行額ガ戰費ノ増大ト
シテモ是ガ圓滿大ナル消化ニ付キマシテハ
各方面ニ配意致シ、非常ナ努力ヲ續ケテ居
ルノデアリマスガ、御承知ノヤウニ今日マ
デ大體順調ナ消化ヲ示シテ居ルノデアリマ
ス、殊ニ昨年ハ支那事變始マツテ以來ノ好
成績デアリマシテ、國債ノ消化ハ今ノ所非常ニ
旨ク參ツテ居ルト申上げテ差支ヘナイト思
フノデアリマス、然ラバ將來尙ホ多額ノ國債
發行ガ豫想セラレルノデアルガ、之ニ對シ
テノ確信ハ如何ト云フコトデゴザイマスガ、
勿論國債ノ發行ニ當リマシテハ、戰費其ノ
他ノ各種國家ノ經費竝ニ物トノ關係、或ハ
又國民所得ノ關係ヲ見マシテ、國家資金ヲ
概定致シマシテ、國家ノ財政資金ニ幾ラ、
或ハ產業資金ニ幾ラ、國民消費ニ幾ラト云
モ非常ニ役立チ得ルノデハナイカト思フノ
具體的ノ一ツノ安心感ヲ與ヘルト云フ點ニ

「マライ」半島ニ於キマシテ之ヲ消化スルコ
ルカ、第二ニ大衆的ノ富籤ナドモ其ノ一ツ
ヲ合セマシタナラバ、此ノ消化ハ十分ニヤツ
スル多額ノ素晴ラシイ額ニ達スルコトト
信ズルノデアリマス
其ノ一ツヲ取ツテ、例ヘバ「マライ」開發
株式會社トデモ云フヤウナ資本金一百億、
或ハ三百億ノ一大國策會社ヲ作ツテ、其ノ
株式ヲ公債所有者ニ優先應募セシムルト云
フヤウナコトヲヤツテハドウカト思フノデ
アリマス、ソレカラ第三ニ私方只今申上げ
タヤウナ大規模ナ國策會社ヲ作ツテ國債ノ
消化ニ充テルト云フヤウナ案ニ對シテハ、
ドウ御者ハラ持ツテ居ルカト云フ、以上ノ
三點ニ付テ當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒ
マス
○田中(豐)政府委員 只今國債ノ發行額ガ
巨額ニ上ツテ、是ガ消化ニ一般大衆ガ色々
不安ヲ持ツ、當局トシテ將來ドウ云フ確信
ガアルカ、色々御示シニナリマシタヤウナ
ノ戡定ヲ俟ツテ又「ユーニギニヤ」ノ開發株
式會社ヲ作ルト云フヤウニシテ、公債所有
者ニ非常ニ興味ト、安心ト、有利感ヲ與ヘ
ルト云フヤウニ致シタイト思フノデアリマ
ス、勿論當局ハ之ニ對シテ確乎タル信念ヲ
アリ、必ズ日本ガ勝抜キ得ル戰ヒデアルコ
トハ事實デアリマス、隨テ私ハ今後公債ガ
或ハ一千億、或ハ二千億ニナリマシテモ、
シテモ是ガ圓滿大ナル消化ニ付キマシテハ
共ニ非常ニ増加致シマシテ、當局ト致シマ
ノ御質問デアツタト存ズルノデアリマスガ、
申スマデモナク國債發行額ガ戰費ノ増大ト
シテモ是ガ圓滿大ナル消化ニ付キマシテハ
各方面ニ配意致シ、非常ナ努力ヲ續ケテ居
ルノデアリマスガ、御承知ノヤウニ今日マ
デ大體順調ナ消化ヲ示シテ居ルノデアリマ
ス、殊ニ昨年ハ支那事變始マツテ以來ノ好
成績デアリマシテ、國債ノ消化ハ今ノ所非常ニ
旨ク參ツテ居ルト申上げテ差支ヘナイト思
フノデアリマス、然ラバ將來尙ホ多額ノ國債
發行ガ豫想セラレルノデアルガ、之ニ對シ
テノ確信ハ如何ト云フコトデゴザイマスガ、
勿論國債ノ發行ニ當リマシテハ、戰費其ノ
他ノ各種國家ノ經費竝ニ物トノ關係、或ハ
又國民所得ノ關係ヲ見マシテ、國家資金ヲ
概定致シマシテ、國家ノ財政資金ニ幾ラ、
或ハ產業資金ニ幾ラ、國民消費ニ幾ラト云
モ非常ニ役立チ得ルノデハナイカト思フノ
具體的ノ一ツノ安心感ヲ與ヘルト云フ點ニ

ヲ除去スル方法トシテ、南方ノ財産ヲ企業化シテ國債所有者ニソレヲ優先シテ所有セシメテハドウデアルカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ大變面白イト申シマスカ、非常ニ研究スベキ案デアルトハ考ヘマス、併シナガラ何ト申シマシテモ、此ノ大東亜戦争ヲ完遂致シマス爲ニ、將來ドノ位國債ヲ發行シケレバナラヌカト云フヤウナ見透シガ十分立ダナイ、其ノ矢先ニ國民ノ間ニ國債ニ對スル不安ガアルカラト云ツテ、其ノ一部ノ國債ヲ現實ニ物ニ換ヘル、南方ノ財産ニ換ヘルト云フヤウナコトヲ致シマシタノデハ、今後ノ國債消化ト云フコトニ却テ惡影響ガアリハシナ伊カト思ヒマス、御話ノヤウニ南方ノ財產、敵產其ノ他ハ總て國債ノ裏付ヲナスマノデアリマシテ、具體的ニ一ツノドノ國債ガ南方財產ノ株式化サレタモノニ代ルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、尙ホ一應考慮ヲ要すべキ問題ガアラウト思ヒマス、殊ニ御話ノヤウニ現在ノ國債ガ「ドイツ」ノ如ク將來國債獻納デ「ゼロ」ニナル、無價値ニナルト云フヤウナ觀念カラソレノ裏付ヲ必要トスルト云フヤウナ意味デ考ヘラレルコトニナルト、是ハ大變ナ問題デアリマス、ドウシテモ巨額ノ公債ヲ消化シテ行カナケレバナラヌ、若シ是が出來ナケレバ御話ノヤウニ國債ノ將來ガ非常ニ不安デアツテ、是方民ニ起スコトナク、ドウシテモ巨額ノ國債ヲ圓満ニ消化シテ行クト云フ方策ニ向ツテ、トデハナク、日本ノ國家全體ガ駄目ニナルト云フ状態ニナリマス、サウ云フ思想ヲ國民ニ起スコトナク、ドウシテモ巨額ノ國債行カナケレバナラナイ所デアルト考ヘテ、居

ル次第デアリマス
○矢野委員長

八

○南委員 私ハ根本的ナ國策ニ付テ大藏大臣ニ御尋ネシタイ事項ガゴザイマスノデ、ソレハ留保致シマシテ、極メテ事務的ノコトニ付キマシテ事務當局ノ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス、先づ第一ニ十八年度ニ於テ此ノ本件ノ公債以外ニ臨時軍事費其ノ他ドレダケノ公債ヲ發行サレル御豫定ニナツテ居リマスカ、ソレヲ御伺ヒシタインデアリマス、尙ホ此ノ機會ニ於キマシテ、一體我國ノ現在在マデ發行シテ居ル公債ノ趨勢ハドウナツテ居ルカ、ト云フノハ之ヲ「バロメータ」ニシテ日本ノ國力ヲ一目瞭然ニ見タイト云フ意向ナノデアリマスデ、即チ又公債ニ關聯シテ、其ノ公債ヲ發行スル時ノ國ノ歲入歳出ノ總額ハ一體何時ノ時期ニドレダケノ公債發行高ガアルカト云フコトヲ見タイノデアリマス、ソレカラ戰爭、事變ト云フ際ニドレダケノ戰費ガドノ事件ニ使ハレテ居ルカト云フコトモ序ニ伺ヒタクイ、尤モ是ハ今直ニ御記憶ニ基イテ伺フコトハ無理デアラウト思イマスカラ、一應御尋ネダケシテ置キマシテ、後ニ此ノ委員會ノ間ニ御説明ヲ願フカ、或ハ書面デ以テ御答ヘヲ願ツテモ結構デアリマス、ト云フノハ日清戰爭ノ時代ニハ一體日本ノ歲入歳出ハドノ程度デアツカ、又アノ日清戰爭テノ戰爭デアツカ日露戰爭時代ノ戰費ハリマスカ、其ノ際公債ハドレダケ出テ居ツタカ、ソレヲ初メトシテ、日本ノ國ヲ賭シテノ戰爭デアツカ日露戰爭一體戰費ガ幾ラデアノ國ヲ擧ゲテノ戰爭ニ一體戰費ガ幾ラデア一體ドレダケデアツカ、或ハ其ノ當時ノ一般ノ豫算ハ一體ドンナ程度デアツカ、又其ノ戰費ヲ賄フ爲ニドレダケノ公債ガ發

行サレタカ、内債外債ニ分ケテ伺ヒタイ、更ニ進ンデ日本ガ世界ノ舞臺ニ初メテ乗出シタ大正三年乃至九年ノ戰役、即チ歐洲大戰ニ際ニ於ケル戰費ハ一體ドレダケ使ツテ居ルカ、其ノ初メノ大正三年ノ豫算ハドノ程度デアツタカ、終リノ九年ニ於テハドノ程度ニナツテ居ルカ、其ノ間ニ戰費トシテノ公債ノ額ハドウ云フ程度ニ上ツテ居ルカ、更ニ我ガ日本ノ本當ノ出發點アリマシタ所ノ滿洲事變ノ始マツタ昭和八年ノ狀態ハドウデアツタカ、其ノ時ニハ滿洲事變トシテノ戰費ハ一體ドレダケ使ツタカ、又其ノ當時ノ國ノ財政ハ一體ドノ程度デアツタカ、其ノ時ノ公債ノ發行額ハドレダケカ——ソレハ發行額デナク、總額ハ幾ラニ上ツタカ、更ニ支那事變ノ始マツタ昭和十二年ニハ歲出入ハ一體ドノ程度デアツタカ、又其ノ時ノ公債ノ現在高ハドレダケデアツタカ、其ノ後戰費ハ一體幾ラ使ツタノカ、此ノ本當ノ大東亞戰爭ノ始マルマデノ戰費ハ一體幾ラ使ツタカ、其ノ以後ハ分ツテ居リマスガ、序デニソレモ併セテ、今マデドレダケノ戰費ガ賄ハレタカ、其ノ中デ公債ハドノ程度ニ殖エ來タカ、財政ハドウ云フ風ニ膨脹シテ來タカ、サウ云フ點ヲ出來ル程度明カニシテ戴キタイノデアリマスガ、昭和十八年分ガ出來ナケレバ十二年カラデモ宜シウゴザイマスカラ、毎年ノ程度モヤハリ明カニシテ戴ケレバ結構デス、之ニ附加ヘマシテ全般ノ國民所得ハドウ云フ風ニ殖エテ來タカ、其ノ程度ヲ御伺ヒ致シタイ、詰リ私ノ御尋ネシタイト云フ趣旨ハ日本ノ國力

ト云フモノハドウ云フ風ニ世帯ガ大キクナリ、ドウ云フ風ニ國力ガ増進シテ來タカト云フコトヲ、數字ニ依ツテ一目瞭然ニ知リタイト云フノガ趣旨ナンデアリマス、只今御伺ヒシタイ、ソレガ出來ナケレバ、御調ベニナツタ後ニ詳細ナモノヲ同時ニ伺ツテモ結構デアリマス

○谷口政府委員 我ガ國ノ財政狀態、又公債ノ發行狀態ヲ御觀察ニナルノデアリマシテ、洵ニ御尤モナル仰セト思フノデアリマス、本年ハ既ニ提案ニナツテ居リマスル昭和十八年度ノ總豫算及ビ追加第一號ヲ併セマシテ約三十三億バカリ公債ガ出ルコトニ相成ツテ居ルカト記憶致シテ居ルノデアリマスルガ、此ノ外ニ本十八年度ニ於テ發行ヲ豫定サレテ居ルモノガドレダケアルカ、斯様ナ仰セガ第一點デアリマスルガ、是ハ近ク臨時軍事費ノ追加豫算ガ確定ニ至リマスルトソレガ分明シテ來ル譯デアリマス、今申シマシタ昭和十八年度總豫算ノ追加第一號ノ外ニ臨時軍事費ノ追加豫算ニ於テ大東亞戰爭ノ公債ガ出マス、ソレカラソレニ伴ヒマシテ十八年度ノ追加豫算ガモウ一ツ出ル豫定ニ相成ツテ居リマシテ、其ノ方面ニ於テモ若干ノ公債ヲ増スコトニ相成ルグラウト思フノデアリマス、此ノ金額ハ審議中デゴザイマシテ、今暫ク致シマシテ提案シテ御審議ヲ仰グコトニ相成ルグラウト思フノデアリマス

ソレカラ從來ノ度々ノ事變、戰爭ノ當時ニ於キマシテ豫算額ガドレ位アルカ、又其ノ時ノ公債ハドウデアツタカト云フヤウナ御質問ノ點ニ付キマシテハ、御参考ニ何レ表ニデモ致シマシテ御覽ニ入レタ方ガ一目

瞭然御分り戴クコトが出来ルカト思フノデ
アリマスルガ、極ク大體ノコトヲ申シマス
ルト、明治維新カラ事變ノ始マリマスル昭
和十二年度マデノ間ニ、戰争ハ日清、日露、
歐洲大戰、滿洲事變モアツタノデアリマス
ガ、此ノ間ノ經費ガザツト四百五十億位デ
アツカト記憶致スノデアリマス、ソレカ
ラ昭和十三年カラ昭和十六年度ニ至ル間、
是ハ事變ガ始ツテ居リマシテ、其ノ事變費
ヲ賄ヒ且ツ一般會計ノ經費ヲ賄ツテ參リマ
シタ額ガヤハリ四百五六十億圓ニ相成ツテ
居ルト思フノデアリマス、昭和十七年ハ大
戰争ニ入ツテ居リマスルガ、是ハ御承知ノ
通り臨時軍事費百八十億、一般會計八十八
億デアリマシテ、二百六十億位ニナツテ居
リマシテ、既ニ十八年度ノ本豫算ニ於テ約
百五六十億ハ突破スル恰好ニ相成ツテ居ル
ノデアリマス、明治維新以來ノ大體ノ恰好
ヲ見マスルト左様ナ狀態ニ相成ツテ居ルノ
假ニ昨年ト同ジ百八十億ト致シマシテモ四
百五六十億ハ突破スル恰好ニ相成ツテ居ル
東亞戰爭以來會ツテ御想像モ出來ナカツタ
ヤウナ巨額ノ支出ガ行ハレテ居ルカト云フ
コトガ御分り願ヘルカト思フノデアリマス、
公債ノ發行額ニ付キマシテハ後刻詳細申上
ゲタイト思フノデアリマスガ、日清戰争ノ
時ハ大體一億一千万圓、日露戰争ハ十四億
七千万圓、歐洲大戰當時ハ四億六千万
圓、滿洲事變十八億三千万圓、大東亞戰
爭ニ至リマシテハ、支那事變開始以來
相成ツテ居ルノデアリマス、尙ホ、大體ノ

○南委員 公債ノ現在高ハ……
○谷口政府委員 昨年度末ニ於キマシテ内
債外債合セマシテ五百十四億七千七百二十一
八万三千圓、斯様ニ相成ツテ居リマス
○南委員 次ニ御尋ネ致シマスノハ、營繕
用資金特別會計法ノ内容デゴザイマスルガ、
第一條ノ二項ヲ見マスルト云フト、他ノ官
廳ノ需要ニ應ジテ使フト云フコトモ豫想セ
テレテ居リマス、是ハドノ程度ノコトヲ御
扱ヒニナルノアリマスカ、曾ツテ伺ヒマ
スト、各方面デドウモ各省各別ニ營繕ヲヤ
ツテ、材料ナドノ奪ヒ合ヒヲヤルト云フヤ
ウナコトデ、是デハドウモ一國ノ政府ガアル
ノニ、各省割據主義デハ面白クナイデハナ
イカト云フヤウナ理想的ノ意見ガ往々ニシ
テアルノデアリマス、此ノ特別會計法ト云
フモノハ、サウ云フ要望ニ基イテ、將來大
キク全面的ニ各省ノ營繕ト云フモノヲ統一
シテ、内閣ニデモ――營繕院ト云フモノヲ
置クカ、兎ニ角各省ノモノヲ全部一纏メニ
スルト云フ、サウ云フ計畫ノ一つノ現ヘレ
トシテ見テ宜シイモノデアルカ、サウデヤ
ナクシテ、單ニ大藏省限リデツツノ材料ダ
ケ出来ルダケ集メテ行キ、急ノ場ニ應ズル
ダケノモノヲ集メル、サウシテ融通ヲ利カ
サナイデ、餘所ヘハヤラヌト云フノデナク
シテ、適當ナ所へ要レバ序デニ讓ツテヤツ
テ宜イト云フ程度ノモノデアルカドウカ、
其ノ根本趣旨ニ付テ伺ヒタイ

ト申シマスモノハ一ツノ官廳ニ於テ統シマシテ、全部ソコデ一纏メニシテヤルト云フコトハ、非常ニ能率ガ舉ガルコトデアリマシテ、結構ナコトダト思フノデアリマス、政府ト致シマシテモサウ云フコトヲ豫テ考ヘタコトガゴザイマシテ、一部分實行ニ移シテ居ルノデアリマスガ、何分ニモ各省ノ中ニハ特別ナ様式ノ建築ヲ必要トスルヤウナ向ガアルノデアリマス、軍用ノ方面ハ勿論ノコトト致シマシテ、ソレノ行政ニ依リマシテ特別ナ建築ヲ必要トスル向ガアリマシテ、ドウモ全部ヲ一纏メニスルト云フコトハ中々難カシイノデアリマス、只今マスガ、事實ハ全部ハ統一致シテ居リマセヌ、他ノ各省ニ於テソレノ營繕ヲ致シテ居ル部分モアルノデアリマス、要シマスニ、御說ノヤウニ營繕ヲ統一スルコトガ宜シテ、マシテ、建前ト致シマシテハ統一ヲ致シテ居ルガ、事實各省デモ別ニ建築ヲ受持ツテ居ル部分ガアルト云フヤウナコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、只今御尋ネノ營繕用品資金特別會計法ハ其ノ營繕統一ト云フコトヲ大イニヤラウト云フコトデアルカ、如何デアルカト云フ仰セデアリマスガ、此ノ營繕用品資金ノ特別會計ニ付キマシテハ、只今申シマシタヤウニ、目下ノ狀況ト致シマシテ、建前ハ統一デアルガ、例外ガ澤山アル、斯ウ云フ狀況デアリマスノデ、此ノ營繕ノ資金ノ方ニ於キマシテモ、大藏省ノ方ニ致シテ居ルノデアリマス、供シナガラ大藏省ダケガ物ヲ買ヒマスノニ便宜ナコトヲ

ニハサウ云フ便宜ヲ供與シナイカト申シマ
スト、他ノ方面デ例外トナツテ居ルモノガ
アリマシテ、大藏省ノ營繕管財局デヤリマ
セズ、他ノ各省デヤツテ居リマス方
品モ、此ノ會計デ買ハウト思ツタラ買ヘル、
斯様ナ仕組ニ致シテ居ルノデアリマス、統
一ハサウ云フ狀況デアリマスガ、買ヒ方ハ大
藏省ダケノ便宜デナシニ、希望ガアレバ他
ノ方ノモ買フコトニ役立テル、斯様ナ次第
ニアリマス

○河野政府委員 大體今大藏次官が言ハレ
タ通リデアリマスガ、据置運轉資本ト申シ
マスノハ、造幣局ノ事業ヲヤツテ行キマス
爲ノ運轉資本、流動資本モゴザイマスシ、
ソレカラ材料物品ト云フモノガゴザイマス、
サウ云ツタモノデアリマス、ソレカラ資本
金ト申シマスノハ、貨幣鑄造ノ益金ガ出
マシテ、貨幣ハ名目價格ヨリハ安ク出來マ
スカラ、ソレヲ賣リマス場合ニ益金ガ出ル
譯デアリマス、ソレヲ資金トシテ取ツテ置
キマシテ、必要ガアレバ、使ツテ居ル譯デ
アリマス、今度ノ置運轉資本ヲ増加スル
ト申シマスノハ、其ノ資金ノ中カラ繰入レ
マシテ、運轉資本ヲ増加スルノデアリマス、
ソレカラ第二條ノ方ノ營繕ノ經費ニ充テル
ト云ヒマスノハ、其ノ資金ノ中カラ金ヲ一
般會計へ繰入レマシテ、ソレヲ財源トシテ
營繕其ノ他ノ工事ヲヤツテ行ク、斯ウ云フ
建前ニナツテ居リマス

○南委員 其ノ點ニ付テ伺ヒタイノハ、一
體造幣局デハ金ヲ造ルダケガ仕事デアリマ
スカ、ソレトモ紙幣ノ印刷ト云フヤウナコ
トハ印刷局デヤツテ居ルノデスカ、或ハ造
幣局デ紙幣ナンカ金ダカラト云ツテオヤリ
ニナルナラバ、公債ハドツチノ方デヤルカ、
ソレヲ一寸御伺ヒシタイ

○田中(豊)政府委員 造幣局ニ於キマシテハ
硬貨ヲ主トシテ造り、其ノ他勅章ノ製造モ致
シテ居リマス、通貨ノ關係ニ於キマシテハ
硬貨ハ造幣局ニ於テ造り、紙幣ハ印刷局ニ
於テ造り、公債等モ印刷局デ造ツテ居リマス
○矢野委員長 南君ニ申上ゲマスガ、只今
ノ質問ハソレデ終リデゴザイマスカ、マダ
御繼續ニナリマスカ

○南委員 私ハ大藏大臣ニ對シテ直接ニ國

策ニ關スルコトガゴザイマスカラ——貨幣

ノ本質ガモウ既ニ變ツテ居ル、今日各種ノ

致策カラ見マシテ、公債致策ト云フモノヲ

本論ニ觸レテ御尋ネシタイノデアリマスカ

ラ、是ハ事務當局ニ御尋ネスルノハ無理ダト

ト云フ考ヘヲ持ツテ居ル、其ノ點ニ付テ根

時ニ御伺ヒスルヤウニ其ノ點留保シテ置キ

マスガ、大藏省ノ政府委員カラ御尋ネスル

マシテ、尙ホ同ジ各種ノ御提案ノ中デ他ノ

ノハ此ノ程度ニ致シマス

○矢野委員長 私ハ南君ノ質問ニ關聯シテ、

政府ニ一言御尋ネシテ置キタイト思ヒマ

ス、ソレハ造幣局ノ作業收入ト支出ノ明細

ヲ知リタイ、次ニハ造幣局資金部ノ歲入歲

出ニ付テ同ジク明細ガ承知致シタイ、次ハ

造幣局ノ資金ノ詳細、特ニ運轉資本ノ狀

態ヲ承知致シタイト思フノデアリマス、只

今南君ノ御質問ハ私モ同様ニ知識ガゴザイ

マセヌノデ、此ノ案ヲ審議決定スルニ付テ、

御說明ヲ今日デナクテモ結構デスカラ伺ビ

タイト思ヒマス

○松田(正)委員 議事進行ニ付テ……表ヲ

要求シテ置キタイト思ヒマス、昭和十二年

度カラ昭和十七年度ニ至ル一月カラ十二月

ガ御分リデナケレバ十一月ノ末デ宜シイ、

國債、債券ノ消化ノ實績、各道府縣別ノモ

ノヲ表ニシテ戴キタイト思ヒマス、ソレカ

シイ、國民貯蓄強高ノ各道府縣別ノ表、

大臣ト云フノガゴザイマスノデ、今直チニ

ソレカラ日銀手持公債ノ昨年度ノ月々ノ總

額及ビ前年トノ比較表ヲ御示シ戴キタイ、

尙ホ豫算委員會ノ方ニ出テ居ル參考書ヲ今

見テ居リマスルケレドモ、見當リマセヌノ

デ申上ゲタノデスガ、差當リ是ダケノ表ヲ

成ルベク早ク作ツテ戴キマシテ、各委員ニ

御分チ願ヒタイト思フノデアリマス

○矢野委員長 ソレデハ大藏省關係ノ政府

委員ハ是デ今日ハ質問ハナイヤウデゴザイ

マスカラ御退席願ツテ結構デゴザイマス、

朝鮮、臺灣、遞信局ニ關スル政府委員ノ出

席ヲ求メテ居リマスガ、南君政務總監デナ

ク、他ノ政府委員デモ宜シウゴザイマスカ

○南委員 責任ヲ以テ御話願ハレバ他ノ政

府委員デモ結構デゴザイマス、出來レバ政

務總監ノ方ガ適當デハナイカト思ヒマス、

斯ウ云フ席上ヘ出テ、實情ヲ機會アル毎ニ

國民ニ知ラシテ戴キタイト云フ希望デゴザ

イマス

○矢野委員長 南君ニ申上ゲマスガ、朝鮮

總督ノ政務總監ハ御病氣デマダ朝鮮ニ居ラ

レルサウデゴザイマス、此處ニ水田財務局

長ガ居ラレマスガ……

○水田政府委員 政務總監ハ昨年カラ病氣

デゴザイマシテ、非常ニ急イデ居ラレマス

ガ、マダ小一週間掛カルカト思ヒマス

○南委員 ソレデハ内務大臣ニオイデ願ツ

テモ結構デゴザイマス、根本ノ問題ハ内鮮

一體化ニ付テ伺ヒタイ點ガゴザイマスノデ、

今日デナクトモ宜シウゴザイマスカラ、内

務大臣ノ御出席ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマ

ス

○矢野委員長 昨日アナタノ御要求ニ内務

大臣ト云フノガゴザイマスノデ、今直チニ

ト云フ譯ニハ參リマセヌガ、明日ノ委員會

ニ内務大臣ノ御出席ヲ願フコトニ致シマス

モ宜シヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス

○水田政府委員 第一ハ朝鮮ノ治安狀況ニ付
キマシテノ御尋ネデアリマス、御承知ノ
ヤウニ朝鮮統治始マツテ三十三年デアリマ
ス、大正八年ニ萬歳騒動ト云フヤウナコト
ガアリマシテ、我國ノ朝鮮ニ對スル眞意
ヲ理解セズニ不祥事件ガアリマシタ、其ノ
後昭和ノ初メニハ全羅南道ノ中學カラ起リ
マシタ全鮮一齊ノ學生盟休事件、尙ホ丸山
警務局長ノ國境警備ノ歌ニモアリマシタ
ヤウニ不逞ノ徒輩ノ侵入ガアリマシテ、齋
藤總督ガ國境ヲ巡視サレタ時ニ發砲サレル
ト、斯ウ云フ事實ガ昭和ノ初メ頃マデハア
ツタノデアリマス、朝鮮ノ問題ト言ヘバ必
ズ治安ハドウカト云フコトデアツタ、然ル
ニ昭和六年ニ滿洲事件ガ勃發致シマシテ、
張學良ノアノ軍閥ヲ鎧袖一觸、皇國ノ軍隊
ガ蹴散ラシタ、滿洲ニ於ケル朝鮮同胞ガ從
來張學良ノ軍閥ハ勿論、支那人ニ非常ナ虐
待ヲサレテ居ツタ、サウシテ朝鮮人ハ、支
那人ト云フモノハ朝鮮人ヨリ強イノダ、偉
イノダト云フ觀念ヲ持ツテ居ツタ、是ガ滿
洲事件ニ依ツテ眼ノ前デ蹴散ラサレタ、此
ノ事實ヲ見マシテ、日本ト云フ國ガ如何ニ
實力ガアル強イ國カト云フコトヲ見直シタ、
モウツハ從來ハ財產ハ勿論生命ノ安固モ
滿洲デハ脅カサレ勝デアツタガ、日章旗ノ
下ニ居レバ絕對ニ安全デアルト云フコトガ
滿洲事件ニ依ツテ立證セラレタノデアリマ
シテ、此ノコトガ朝鮮内ニ反映シナイト云
フコトハアリマセヌ、ソレデ從來ハ朝鮮ノ
治安問題ト云フト、共產主義ノ赤イ思想
ト、民族獨立、此ノニツノコトガ錯綜シタ
可ナリ複雜ノ様相ヲ呈シテ居リマシタガ、
此ノ滿洲事件ニ依リマシテ、ヤハリ朝鮮人
ハ大日本帝國ノ臣民デアルト云フコトデナ

ケレバイケナイト云フコトガ段々ト分ツテ
來タノデアリマス、ソレガ昭和十二年ノ支
那事變ニナリマシテ一層ハツキリシテ參リ
マシタ、ソレガ具體的ニ色々ナコトデ現ハ
レテ參リマシタ、例ヘバ國防獻金デアリマ
ストカ、飛行機ノ獻納デアリマストカ、又
ハ昭和十二年ノ夏カラ殆ド半年ニ亘ツテ、
釜山カラ新義州ニ軍隊ヲ輸送シマシタガ、謀略ニ依ツテ
其ノ間ノ歡迎ノ狀況ナリ、又釜山カラ新
義州ノ殆ド千「キロ」ニ近イ間ニ引ツキリナ
シニ軍用列車ガ行キマスガ、謀略ニ依ツテ
列車事故ガ起キナイカト云フコトデス、是
ハ當局トシテモ一應ニ心配シマシタガ、支
那事變以來其ノ間ニ一回モ列車事故ガ起キ
マセヌ、鐵道當局及ビ警察當局ガ非常ニ努
力シタ結果デモアリマスガ、畏クモ參謀總
長宮殿下ヨリヨクヤツテ吳レタト云フ御言
葉モ鐵道當局ガ戴イタト云フ風ナ狀況ニ相
成ツテ居ルノデアリマス、唯大東亞戰爭勃
發前、昭和十六年ノ初メ頃カラデアリマス
ガ、ドウモ戰爭ガ長キニ亘ツテ參リマシテ、
少シ厭クト云フカ、率直ニ申シテサウデア
リマス、ソレカラ物資ノ統制ガ段々ト加ツ
テ參リマシテ、生活ガ窮屈ニナツテ來ルト
云フコトモ一ツ加ハリマス、朝鮮ニ於キマ
シテハ合併前カラ英米ノ宣教師ノ力が非常
ニ面倒グ、若シ日本ト「アメリカ」ト戰爭スル
モ親米、崇米ノ思想ト云フモノガ脫ケ切レ
ニ申シテ一部ノ朝鮮人ノ中ニハドウモ日本
ハ工合ガ惡イノデハナイカ、斯ウ云フヤウ
ナ疑惧ノ念ヲ抱ク、ソレガ又戰爭ガ長期化
シテ民心ガダレテ來テ、況シヤ物資ノ統制

ガ加ハリマシテ、段々窮屈ニナツテ來ル、
オ互ナラバヨク話シテ聽カセマスト、斯ウ
云フ譯ダカラ物ガ足ラナイノダト分リマス
ガ、中々國語ヲ話セル者モ少イ、實ハ國語
ノ問題デアリマスガ、全人口ノ一割六、七
分位シカ國語ノ分ル者ハナイト云フ狀況デ
アリマス、ソンナ關係デ實ハ昭和十六年ノ
況ヤ蔣介石ノ共產第八路軍デアリマスト
カ、或ハ其ノ他ノ方面カラ、朝鮮ニ於ケル
軍事施設ナリ、其ノ他ノコトヲ探ルト云フ
春カラ、夏、秋ニ掛ケテハ、少シドウカ、
コトニ、民心ノ間隙ニ乘ジテ之ヲ動搖セシ
メヨウト云フ風ノ策謀モナイトハ言ヘナ
イノデアリマス、ソンナ關係デ、十六年ノ
春カラ夏秋ニ掛ケテハ、吾々局ニ當ツテ居
リマス者モ、少シ警戒シナケレバナラヌノ
デハナイカ、是ハ率直ニ申シテサウ云フ狀
況デアツタ、所ガ十六年ノ十二月八日ニア
ノ大東亞戰爭ノ勃發、而モ一二、三日ニシテ
如何デアラウカト思ツテ居ツタ米英ヲ徹
底的ニヤツ附ケテシマツタ、是ハ吾々内地
人モ驚ク程ノ戰果デアル、況ヤドツチカト
云フト崇米ニ傾イテ居ツタ一部ノ朝鮮人ト
シテハ、是ハ轟然トシテ、開イタロガ塞ガ
ラナイ、是ハ事實デアリマス、俺ハ日本帝
國臣民デ宜カツタ、成程日本ノ實力ヲ見
直シタト云フノデ、今マデ灰色ナ考ヘヲ持
ツテ居ツタガ、ハツキリト大日本帝國ノ
臣民デナケレバナラヌト云フコトノ考ヘヲ
持チ、又惡イ事ヲ考ヘテ居ツタ者ハ、勢ヒ
或ハ重慶ト力其ノ他ヘ逃ゲテ行ツテシマフ
モテ居ツタ者ガ、ハツキリト大日本帝國ノ
臣民デナケレバナラヌト得ナイト云フコト
ニ申シテ一部ノ朝鮮人ノ中ニハドウモ日本
ト云フコトニナラザルヲ得ナイト云フコト
デ、具體的ニ申シマスト、昭和十二年カラ
昭和十六年ノ四年間ニ國防獻金ナドモ
千二百十万圓位デアリマシタ、ソレガ十二

月八日カラ最近マデノ九箇月デ以テ、國防
獻金ガ二千九百四十萬圓、約三千万圓、四
年間ニ千二百万圓ノ國防獻金ガ、此ノ九箇
月デ以テ三千万圓近クニナリ、飛行機ノ獻
納ナドモ非常ニ多イト云フコトデ、澎湃タ
ル愛國熱、皇國臣民化ト云フコトガ現實ニ
ナツテ現ハレ、大東亞戰爭、滿洲事變ト云
フモノガ朝鮮統治ニ心的ニ非常ニ影響ヲ與
ヘタト云フコトハ、是ハ形ニ現ハレナイ無
形ノ效果デアリマスガ、大東亞戰爭ノ赫々
タル皇軍ノ戰果ニ依リマシテ、決定的ニ其
ノ點ハ好イ影響ヲ與ヘタ、斯ウ申シテ宜カ
ラウト思フノデアリマス、唯併シナガラ一
途ニ手放シテ一切吾々局ニ當ツテ居ル者ハ
樂觀シテ宜カト云フト、ソレハサウハ參
リマセヌ、一般ノ狀況ハサウ云フ風デアリ
マスガ、何ト言ヒマシテモ尙ホ重慶政權ノ
手先ニナツテ居ル者、「モスコー」ノ共產黨大
學ヲ卒業シタ者、又米英ト云フモノノ手ガ
朝鮮内ノ所謂「スパイ」——「スパイ」ニ加ヘ
テ後方攬亂ト云フコトノ手ガ伸ビナイト考
ヘルノハ甚ダ迂闊ナ話デアリマス、現ニ凡
ユル手ヲ以テ「スパイ」ガ入り込マントシテ
居ルノハ想察ニ難クナインデアリマス、警
務當局トシマシテハ、「スパイ」ノ侵入ヲ防
止スル、入ツタ者ハ摘發スルト云フコトニ
ハ全力ヲ盡シテ居ル譯デアリマスガ、以前
ハ國境ノ事件ト言ヘバ、例ヘバ稅關關係デ
暴力ヲ振ツテ密輸スルト云フコトガアツタ
ノデアリマスガ、最近ハヤハリ「スパイ」
敵性國家ニ踊ラサレテ居ル者ガ潛入スルノ
ミナラズ、萬一見付ケラレタ場合ニハ暴力
ヲ揮ツテ國境線ヲ突破シテ入ツテ居ル、斯
云フヤウナ事件ガアリマシテ、朝鮮ノ國
境方面ハサウ云フ「スパイ」ノ侵入ニ付テ嚴重

ニヤツテ居リマス、是ハ官憲ノミナラズ、國境ノ朝鮮人青年ニ警防團ト云フモノヲ組織サセマシテ、之ヲ國境第一線ノ「スペイ」侵テ居ツテ吳レルト云フ一ツノ證左ニモナリマスガ、ソンナ譯デ毫モ油斷フ許サナインデアリマス、所謂共產黨ノ檢察ト云フモノモ今日尙ホ跡ヲ斷チマセヌ、詳細ナコトハ省略致シマスガ、檢察當局ニ於テハ其ノ方面ノ所謂查察、檢察——獨立ト云フ風ナコトニ付テハ、モウ今日朝鮮内ニ於テ彼此レ言フ必要ヘアリマセヌガ、所謂「スペイ」行為ト、ソレカラ後方攬亂、此ノ點ニ付テノ敵性國家ノ謀略行爲ト云フモノヘ、今日毫モ手ヲ弛メテハナラヌト云フ状況ニアルト云フコトヲ御承知願ヒタイト思ヒマス、併シ全體カラ見マシテ、治安狀況ト云フモノハ、以前ト比べマシテ比較ニナラナイ程宜クナツテ居ル、斯ウ申シテ宜カラウト思ヒマス。

ナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、朝鮮トシマシテ昭和十五年ニ増米計畫ヲ立テテ、着々進ンデ居ル譯デアリマス、昭和十七年ニへ更ニ大計畫ヲ立テマシテ、現在凡ソ二千四百万石程ノ平年作ニ對シマシテ、現千百餘万石程ノ增收計畫ヲ立テマシテ、現在實行中デアリマス、併シナガラ昭和十四年ニアノ大旱魃ノ爲ニ二千四百万石ノ標準ニ對シテ千万石減收シテ、千四百万石シカ獲レナカツタ、茲デ日本全體ノ食糧問題ト云フモノガ極メテ明瞭ニ浮ビ上ツテ來タ譯デアリマス、朝鮮トシマシテハ何トシテモ米ヲ餘計作ラナケレバナラヌト云フコトデ進シテ來テ居リマスカ、昭和十五年ニハ二千五百數十万石デ、非常ニ宜シウゴザイマシタ、然ルニ昨年ハ昭和十四年ノ旱魃ニ略、匹敵スル程ノ旱魃デアリマシタ、昭和十四年ノ大旱魃ノ時ニハ七月三十一日ノ現在デ總面積ノ七割一分植付ケタ、然ルニ昨年ハ同ジ時期ニ於テ七割五分ノ植付、四分ノ一ヘ全然植付シテ居ナイト云フ狀況デアリマス、隨テ米ノ收穫高ハ二千四、五百万石ガ普通デアリマスノニ對シテ、今日ノ新聞デハツキリシタ數字ガ出テ居リマシタガ、約千五百七十万石デ、大體九百万石カラ千万石不足シタト云フ狀況デアリマス、況ヤ昭和十四年ノ時ニハ畑作ガ雨降リノ工合ノ關係デ宜シカツタノデアリマシタガ、昨年ハ畑作モリマスノデ、米ト煙作、雜穀、芋類、總テ五割減收、馬鈴薯ナドモ三割位シカ獲レナカツタ所モアル、斯ウ云フヤウナ狀況デアリマスノデ、米ト煙作、雜穀、芋類、總テ合ハセマシテ何トカ外カラ賄ヒヲ付ケナイト食ヘナイト云フ狀況デアリマス、ソレニ對シマシテ實ハ昨年麥ガ惡ウゴザイマシ

タ、併シ今年ハ麥ハ少シハ去年ヨリハ今ノ
状況ナラ宜イデヤナイカ、隨テ去年カラ比
ベテ先づ百八十万カラ、二百万位ハ此ノ初夏
ニ於テ麥ハ餘計穫レルダラウ、其ノ穫レタ
モノヲ早ク食ハセヨウ、斯ウ云フヤウニ考
ヘマシテモ尙ドウシテモ何トカ補給ヲ付ケ
ナケレバナラナイ、隨テ、内地ニ一粒デモ
朝鮮米ヲ餘計入レヨウト云フコトヲ吾々ハ
念願シテ居リマスガ、今年ハ一粒モ入レル
所デハゴザイマセヌ、最小限、外米デモ宜シ
イ、満洲ノ粟、大豆——鬼ニ角ゾレハ旨クテ
モマヅクテモ構ヒマセヌ、腹ニ滿ツレバ宜
シウゴザイマスノデ、何等カノ方法ニ依ツ
テ最小限位ノモノハ何トカ内地ノ方ニモ御
理解ヲ得テ補給ヲ願ハナケレバナラヌデヤ
ナイカト云フ状況デアリマス、併シナガラ一
面朝鮮内ニ於キマシテモ都會地ニハ朝鮮内
デ以テ米ヲ持ツテ行ツテヤラナケレバナラ
ヌ、不足道ニモ持ツテ行カネバナラヌ、隨
テ農村ニ對スル米ノ供出ト云フコトハ勿論
現在モ非常ニ力ヲ入レテヤツテ居リマス、
唯昭和十四年ハ非常ナ旱害デアリマシテ、
何トカ入レテ貰ハナケレバナラナイト云ツ
タ所ガ、其ノ當時ヤハリ満洲ノ方カラ十分
ニ入ラナカツタ事情ガアリマシテ、農民ニ
對シテハ米ノ供出ノ時ニ、軀テ後ニナツタ
ラ満洲カラ難穀ガ來ル筈ダ——是ハ約束シ
テ居ツタノデアリマスカラ、來ル筈ダ、ダ
カラ今ノ中ニ米ヲ出セト云フコトデ十二月、
一月頃米ヲ出サシタノデアリマス、所ガ五
月、六月ニナツテ約束通り入ラナカツタモ
ノデスカラ、ドウモ嘘ヲ言ツテ米ヲ取上ゲ
タソニヤナイカト云フヤウナ印象ヲ、一部ノ
農民ニ與ヘタト云フコトハ否マレナインコト
デアリマス、決シテ吾々總督府當局ハ嘘ヲ

言フ積リハナカツタノデアリマスケレドモ、結果ハ一部サウ云フコトニナツタノデアリ
マシテ、去年カラ今年ニ掛ケテノ米ノ供出
ニ付キマシテハ、現總督ハソレ等ノコト
ニ付テモ心配サレマシテ、農林省ノ方ニモ
十分話ヲ付テ、能ク理解シテ戴キマシテ、
満洲カラ出來ルダケ雜穀ヲ入ルコトニ心
配シヨウト云フコトニナツテ居リマスガ、
豫定通り入リマスカドウカ、實ハ非常ニ懸
念シテ居ル次第アリマス、總督府當局ト
致シマシテハ、假リニモ食糧不安ト云フコ
トカラ、延イテ治安ノ問題ニ關聯セシムル
ヤウナコトガアツテハナリマセヌノデ、其
ノ點内地等關係當局モ十分ニ御理解ヲ願ツ
テ居ル譯デアリマス、率直ニ申シテ中々朝
鮮統治上機微ナ點モアリマス、ソレ等ノ點
ヲ内地ニ於テ十分ニ理解戴キマシテ、食糧
ノ補給ト云フコトニ付テハ此ノ上トモ御協
力ヲ御願ヒシナケレバナラスト存ズルノデ
アリマス、其ノ爲ニ治安ニ聊カデモ搖ギア
ラシメテハナラナイト云フコトデ、ソレ等
ノコトニ付キマシテハ萬全ノ措置ヲ講ジテ
居ル次第アリマス

鮮人ノ勞務者ヲ此ノ方面ニ利用スルト云フ
ニ今日マデ二、三年ノ間ニ特別ナル勞務者
トシマシテ二十一万餘人ヲ供出致シテ居ル
ヤウナ狀況デアリマス、尙ホ軍ノ希望セラ
レマス特別ナ方面ニモ勞務者ヲ供出シテ居
ル次第デアリマシテ、勞務資源ノ點ニ於キ
マシテ朝鮮ト致シマシテ此ノ東亞戰爭ニ
出來ルダケ貢獻シナケレバナラヌノデハナ
イカト云フヤウニ考ヘテ居リマス

尙ホ食糧ノ問題ニ付キマシテ、是ハ昨
年洵ニ不幸ニシテ非常ナ旱害アリマシタ
ガ、全般ト致シマシテハ、米ハ勿論、雜穀
ニ於キマシテモ、食糧ハ自ラ供給スルコト
ハ勿論、米ハ相當内地ノ方ニ貢獻スル建
ノ下ニ今日努力致シテ居ル譯デアリマス

尙ホ地下資源ニ付キマシテハ、金ハ「日本
全體ノ殆ド半分以上ヲ朝鮮デ出サウ、鐵鑛
石ニ付キマシテモ、日本全體ノ五十數「ハ一
セント」ヲ朝鮮半島ニ於テ出サウ、其ノ他所
謂非鐵金屬——「タングステン」、「モリブデ
ン」、或ハ黒鉛、螢石、雲母ト云フヤウナ戰爭
杜絕シテ居ルト云フ鐵ニ非ザル各種ノ重要
遂行ニ缺クベカラザル、而モ從來殆ド大部分
ヲ外國カラ輸入シテ居リマシテ、現在殆ド
金屬ト云フモノハ、物ニ依リマシテハ日本
全體ノ七割、物ニ依リマシテハ百「パーセント」
此ノ朝鮮ヨリ供給スルト云フコトデ、其
ノ方面ニ於キマシテモ出來ルダケ資材ノ配
給ヲ得テ、日本全體ノ戰爭遂行ニ貢獻致シ
タイト念願致シテ居リマス

尙ホ電力ガ豊富デアリマスルノデ、殊ニ
輕金屬工業ハ電力ヲ殆ド原料トスル位デア
リマスノデ、電力ノ開發ニ努メマシテ、其
トシマシテ二十一万餘人ヲ供出致シテ居ル
ヤウナ狀況デアリマス、尙ホ軍ノ希望セラ
レマス特別ナ方面ニモ勞務者ヲ供出シテ居
ル次第デアリマシテ、勞務資源ノ點ニ於キ
マシテ朝鮮ト致シマシテ此ノ東亞戰爭ニ
出來ルダケ貢獻シナケレバナラヌノデハナ
イカト云フヤウニ考ヘテ居リマス

所アラシメタイト云フヤウニ考ヘテ居ル議
デアリマス、是等ノコトヲヤリマスル基調
ト致シマシテ、現總督着任セラレマシテ、
萬世一系ノ皇室ヲ戴イテ、如何ニ吾々ハ有
難ク生ヲ樂シメテ戴ケルカト、國體ノ本義、我
本義ヲ透徹セシメテ、半島民衆ヲシテ心力
ヲ燃エ上ル皇國臣民タラシムル所ガナクテ
ハナラヌト云フコトヲ非常ニ強調セラレテ
居ルノデアリマシテ、是ガ透徹ニ付テ非常
ニ力瘤ヲ入レラレテ居リマス、同時ニ半島
ニ於キマシテハ官吏、所謂指導者階級ト云
フモノノ言行ト、考ヘ方ト云フモノガ一般
民衆ニ及ボス影響ト云フモノハ、内地ノ比
デハアリマセヌ、隨テ官公吏ノ言行、殊ニ
經濟關係ニ於キマシテ、吏道ノ刷新、綱紀ヲ
ノ問題、此ノ點ニ付テハ非常ニ戒心ヲシナ
ケレバナラナイ、官公吏ノ一言一行、其ノ
ヤリ方、民衆ニ信ヲ失フカ、信ヲ得ルカト
云フコトガ二千四百万ヲ右スルカ、左スル
カノ重要ナ因デアルト云フノデ、官公吏ノ
吏道ノ刷新、綱紀ノ肅正——苟クモ綱紀ヲ
素ルコトガアツテハナラナイト云フコトニ
付テハ、非常ニ強調シテ居ラレル所デアリ
マス、精神的ニハ斯ウ云フコトヲ強調シ、
物的ニハ今申シタヤウナ方面ニ於テ大東亞
戰爭ニ貢獻スル所アリタイト云フ考ヘ方デ
進ンデ居リマス、

八、本當ニ實行シテ居ラストシマシテモ、原則ダケデモ玄米食ヲヤルト云フコトニナツテ居ルニ拘ラズ、朝鮮ニ於テハ、其ノ點ニ付テハドウ云フ風ナ御心持デヤツテ居ラレルカ、ソレヲ一寸序デニ伺ヒタイ
○水田政府委員 内地人ハ一人當リ米ノ消費ガドレ位ニナツテ居リマスカ、朝鮮ニ於キマシテハ米ト云フモノハ主食デナカツタノデアリマス、雜穀ガ主デアリマス、昭和八、九年頃ニ米ガ餘ツテ仕様ガナイ、成ベク米ヲ食ハセロト云フコトニナリマシタ、ソレ以後經濟ノ力モ段々殖エテ參リマシテ、段々ト米ヲ朝鮮人ガ食フヤウニナツテ參リマシタ、ソコデ一兩年前ノ實情ハ、朝鮮人一人當リ、米、雜穀全部合セテノ一年ノ消費量ハ、是ハ常識ノ數字デアリマスガ、二石五斗ト吾々ハ押ヘテ居リマス、米、雜穀總テ一年ニ腹ニ入レマス其ノ一石五斗ノ消費ニ對シマシテ、平均シマシテ雜穀ガ八、九斗、米ガ六、七斗、マダ雜穀ノ方ガ「パンセンテージ」カラ見マスト多イ状況ニナツテ居リマス、朝鮮人自體ノ經濟ノ向上カラ見マシテモ、成ベク安イ雜穀ヲ食ベテ、高イ米ヲ賣ルト云フコトガ經濟ヲ向上セシメル所以デモアリマス、況ヤ現在ニ於キマシテハ米ノ消費ト云フモノハ極力抑制シナケレバナラナイ、雜穀モサウデアル殊ニ昨年カラ今年ニ掛ケマシテハ、草根本皮ト云フモノデ相當食ヘルモノガアリマス、ルノデ、ソレ等モ食ハウ、政策トシテハサウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、米ノ消費量ハ今申シタ通り六、七斗程度、雜穀ガ八、九斗位ト云フコトニナツテ居リマス、勿論内地ニ於キマシテ三分搗、二分搗ト云フコトデアレバ、朝鮮ニ於キマシテモ

ヤハリソレニ懶ヒマシテ三分搗、二分搗ル譯デアリマス、玄米食ヲ内地ノ方ニオヤリニナルト云フコトニナレバ、ソレ等ノ點ニ付テ朝鮮ニ於テモ考慮致スコトニナルト云フコトニ付テハ、相當考慮ノ餘地ガアルノデハナイカト思ツテ居リマス、併シ消費ノ節約ト云フ點カラ行キマシテ、大體内地ニ倣ヒマシテ玄米ヲ食ベルト云フコトモ勿論考ヘネバナラヌ所ト存ジマス○南委員 是ヘ朝鮮ダケノ話デハナイノデスガ、玄米ニ對スル當局ノ認識ガ非常ニ貧弱ダト思ヒマス、二百年前ニハ日本デハ白米ハナイノデス、白米ノナイ時ニ家畜ハ飼ヘナカツタカト云フト、源平時代ニモ牛馬ハ居ツタ、サウ云フコトノ御調ベモノク、銅料ニ缺乏スルト云フコトデ、玄米食ヲ澁ルト云フヤウナ氣風ガ今ノ官界ニアル、官田ノミナラズ農村ニモアリマスガ、米カラ糠ト云フ一番良イ所ヲ抜イテ、粕ヲ食ハセテ居ルノガ現在ノ白米食デス、ソレヲ玄米食ニシテ食べ方ガ拙イナラ仕方ガナイガ、食べ方ガ發見出來テ居ル、ソレヲ能ク工夫シテ、殊ニ朝鮮ノ方々ガ玄米食ヲ十分味ハツテ巨ク食べサセテ戴クト云フコトニシマスレバ、玄米食ト云フモノハ單ニ糠ノ數量ダケ殖エルノデハナイ、一割糠ノ分ダケ殖エルト云フダケデナク、實際ハ四割モ産ミ出スコト御研究ヲ願ヒタイ、糠ガナクナツタダケ分量ガ減エルト云フノデハナク、少シ食べテ

モ腹一杯ニナルト云フコトガ現ハレテ居リ
マス、ソレハ一高ニ行ツテ御調べニナツタ
ラ分ル、サウ云フコトヲ御調べニナツテ、
朝鮮人ノ人心ノ安定ノ爲ニモ、食糧自給ノ
爲ニモ一ツ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、
其ノ點ニ付テ、御當局ニ御伺ヒシテ置クコ
トハ其ノ程度ニ止メマスガ、尙ホ内鮮一體
化ノ根本問題ニ付テ御尋ネシタイコトガア
リマスガ、是ハ内務大臣カラ……

○松田(正)委員 關聯シタ事項デ伺ツテ見
タイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○矢野委員長 宜シウゴザイマス

○松田(正)委員 朝鮮ノ二千四百万ノ人口
ノ中、日本語ニ通ジテ居ル者ハ幾割ト申サ
レタカ、速記錄ヲ見ナイト分リマセヌガ、
僅カシカナイト思ヒマスガ……

○水田政府委員 最近ノ調べニ依リマシ
テ、約四百万人位ハ國語ニ通ジテ居ル者ガ
アルト云フコトニナツテ居リマス

○松田(正)委員 ザツト七分ノ一デゴザイ
マスナ、朝鮮ガ日本ニ合併サレテカラ何年
ニナルノデスカ、三十三、四年ニナル、ソ
レニマダ朝鮮ノ人ガ、日本語ニ通ズル者ガ
七分ノ一ト云フノハドウ云フモノデス、今
日本ハ大東亞戰爭ノ眞只中ニアツテ、此ノ
委員會ニ付託サレタ公債ヲ出しシテ、マダア
ト臨時軍事費ガ出テ來ル、追加豫算ガ出テ來
ル、此ノ委員會ニ掛ル公債消化ニ付テ、或ハ國民貯蓄等ニ
モ、臺灣モ、樺太モ、皆日本人タル資格ニ於
ケダケニナツテ居ルノニ、全人口ノ中ノ七分ノ
一位シカ日本語ニ通ジナイト云フノハ、如
何ニモ公債消化ニ付テ、或ハ國民貯蓄等ニ
付テ、内地人ト苦樂ヲ共ニスル考ヘガアルカ

ドウカ、是ハ疑ハレル、一體國民學校ノ教育ヲドウサレルカ、今當局ガ御述ベニナツタ所ヲ聽イテ居リマスト、如何ニモ内地ト一體化セシメル上ニ付テ努力ヲサレテ使ツテ居ルヤウデアリマスガ、學校デ日本語ヲ學ブ、家ニ歸ツタラ父兄ハ朝鮮語ダ、學校デハ日本語ヲチヨイ／＼習ツテ居ツテ使ツテ居ルケレドモ、家ニ歸ツタラモウ朝鮮語シカ使ハナイ、ダカラ國民學校デ習ツテ來ル、家ニ來タラ忘レル、國民學校ヲ出テシマツタラ忘レテシマフ、是デハ何時マデ經ツテモ日本語ヲ朝鮮人ガ用ヒルヤウニハナラナイ、臺灣ニ參リマスト、或ル工場デハ臺灣語デ話スベカラズト書イテ貼ツテアル、事實能ク見テ下サイ、内地人ガ五人ト、朝鮮ノ半島人ガ五人ト寄ツテ、合計十人居ル時ニ、内地人ノ五人ト半島人ト話ヲスル時ハ内地語デ話ス場合ガアルガ、半島人五人デ話スト日本語デ一寸モ話ヲシナイ、斯ウ云フ弊ガアル、是ハ教育ガドウサレテ居ルノカ、一體公債ノ消化ハ貯蓄ガ根本デアリマスガ、貯蓄ヲスルト其ノ金ハ沒收サレルノダ、此ノ頭ガ朝鮮人ニアル、ダカラ朝鮮、臺灣、ニ目標額ヲ割ツテ居リマスガ、其ノ額ハ内地ノ人口一人前ノ割高ト、臺灣、朝鮮ニ對スル一人前ノ割高ト比ベルト、朝鮮、臺灣ノ方ガ少イ、之ヲ内地同様ニ負擔セシムル所ニマデナゼ早クヤラナイカ、是ガ萬事ニ影響シテ居リハシナイカ、日本婦人ガ朝鮮ノ人ト夫婦ニナツタラ、ナゼ半島人ノ服ヲ着ヌカスカト言ツタ、ドウデスカ、實際ノヤリ方ト言ツタサウデス、是デ現在及ビ將來ニスペキ朝鮮一千四百萬人ノ國民ガ、内地人

ト一體化出來ルカドウカ、是ハ由々シキ間題デハナイカト思フ、臺灣ノコトニ付テハ其處ニ臺灣ノ中島財務局長ガオイデニナツテ居ルヤウデスガ、斯ウ云フ譯デ教育費ノ使ヒ方デモ、官立學校九十六校ノ内地ノ學校ヲ調べテ見マスト、一人ノ生徒ガ一年ニ國費ヲ食ツテ居ル高ハ、東北醫科大學、是ガ二千八百六十二圓、一人ノ生徒ガ一年ニソレダケ國費ヲ食ツテ居ル、是ガ一番餘計食ツテ居ル、其ノ他高等學校アタリノ生徒ハ、大體一年ニ五、六百圓國費ヲ食ツテ居ル、東京帝國大學ハ法科ガアルカラ、ズツト下ニナツテ居リマスガ、一人ノ生徒ガ一年ニ八百六十圓バカリ國費ヲ食ツテ居ル、朝鮮、臺灣ハ或ル程度ノ學校ヲ卒業スルト、日本ノ東京ノ學校ヲ卒業シテ來ナケレバ歸ツテモ肩幅ガ狭イ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ル、現ニ臺灣ガサウデス、デスカラ高等學校ニ行ツテ居ル者ガ相當アリマスケレドモ、ソレヲ卒業シテ學部トナルト、皆内地へ來テ居ル、而モ日本大學ト云フ肩書ノ良イ所へ入ル、俺ハ東京ノ日本大學ヲ卒業シテ來タノダ、斯ウ言フト、良イ所カラ嫁サシガ貴ヘル、斯ウ云フ頭ニナツテ居ル、驚ク勿レ臺灣ノ大學ノ一人ノ生徒ガ一年ニ國費ヲ食ツテ居ルコト一万六百圓、此ノ有様デアル、ソレデ是等ノ教育ノ至ラザル所ガ、結局先程申スヤウナコトニナリハセヌノカ、臺灣デ一万六百圓稅金ヲ拂ツテ居ル家ガ、一人ノ子供ヲ大學ニ入レタラ無稅ト同ジコトデス、子供ガ一万六百圓ノ國費ヲ食ツテ居ルノデスカラサウナル、斯ウ云フ風ナ有様デアリマス、私旅行先カラ此處へ來タノデ詳シイ數字ハ今持ツテ居リマセヌガ、何ニ

致シマタ所デコンナヤリ方デハ、此ノ殖王
テ行ク赤字公債ヲ臺灣、朝鮮ガ協力致シテ、之ヲ消化スルコトハ出來マセヌ、ソレデ承
ビ公債消化ノ割當目標ハ朝鮮ニ於テドレダケ、臺灣ニ於テドレダケ、之ヲ過グル昨年
ノ十二月一ペイニドレダケノ公債ヲ消化シ
テ居ルカ、國民貯蓄ハ何處マデ其ノ目標ヲ
達シテ居ルカ、之ヲ御報告願ヒタイト思ヒ
マス

分ハ初等教育機關ニ收容シテ今マデ進ンデ
參リマシタ、ソレガ昭和十七年ニナリマシ
テ五割八分ノ兒童ヲ收容スルト云フコトニ
相成ツタノデアリマス、併シナガラ殊ニ徵
兵制モ布カレタ今日、初等教育ハモット擴
充致シマシテ、イロハヲ分ラスヤウニシナ
ケナレバナラスト云フノデ、種々者究致シ
マシテ、昭和二十一年度ヲ期シマシテ義務
教育ノ制度ヲ施行シ、學齡兒童ニ付テハ男
九割、女五割ト云フモノハ初等教育機關ニ
收容出來ルト云フ所マデ擴充シヨウト云フ
ノデ教育施設ニ付テハ計畫ヲ立テ居ル次
第デアリマス、國語ノ習熟ニ付テ兎ニ角イ
ロハヲ速ク分ラセルト云フコトニ付キマシテ
ハ色々腐心シテ居ル次第デアリマス

ツタノデアリマス、成ベク朝鮮ノ蓄積ヲ多ク致シマシテ、資金ニ付テ内地ノ負擔ヲ出度デアリマシタガ、最近ハ所要資金ノ半分位ハ自分で賄ヒマシテ、アトノ半分ハ内地ノ方カラ御願ヒスルト云フコトデアリマスノデ、蓄積致シマシタモノガ、公債ノ消化デアルカ或ハ社債ノ消化デアルカ、形ハ變リマシテモ、蓄積致シマシタモノノ全部ヲ朝鮮ノ開發ノ爲ニ使ツテ、尙ホ内地ニ資金ヲ仰ガナケレバナライト云フ状況デアリマシテ、朝鮮ノ経済力ハ非常ニ貧弱デアルト云フ點ニ付キマシテ御諒承願ヒタイト思ヒマス、計數ニ付キマシテハ後刻差上ゲルトニ致シマス

○中嶋(一)政府委員　臺灣ノ貯蓄獎勵目標ハ十七年一度ニ付キマシテ三億圓デアリマス十二月末ニ於ケル成績ハマダハツキリ分ツテ居リマセヌ、十一月末現在、年度ノ三分ノ二ヲ經過致シマシタ所ノ實績ヲ申シマスト約目標額ガ一寸切レルト云フ程度デアリマス、併シ臺灣ニ於ケル貯蓄ノ實績状況ハ例年十二月以後ニ於テ急激ニ増加致シマスノヲ常ト致シマスノデ、今年度ノ三億圓ト云フ目標ハ確カニ達成出来ルモノト私共ハ確信シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ公債消化、或ハ債券ノ消化ハドウカトナリマシタモノハ、全部期日内ニ賣切ツテ大藏省其ノ他ト御協議致シマシテ、割當ニ云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ只今正確ナ計數ヲ持ツテ居リマセヌガ、大體ニ於テ消化致シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、計數ニ付テハ正確ナモノヲ取調べ、後刻御手

○中嶋(一)政府委員

臺灣ノ貯蓄獎勵目標

マヌニ計數ニ付キマシテハ後刻差上ゲルヨ
トニ致シマス

云フ點ニ付キマシテ御諒承願ヒタイト思ヒ

シテ、朝鮮ノ經濟力ハ非常ニ貧弱デアルト

朝鮮ノ開發ノ爲ニ使ツテ、尙ホ内地ニ資金ヲ仰ガナーベナライ、云フ状況デアリス

リマシテモ、蓄積致シマシタモノノ全部ヲ

ノデ、蓄積致シマシタモノが、公債ノ消化
デアルカ、或ハ社債ノ消化デアルカ、形ハ變

度テアリ、シタカ 最近ノ所要資金ノ半分
位ハ自分で賄ヒマシテ、アトノ半分ハ内地

ハ所要資金ノ二割 程度ヲ自ラ賄フト云フ程
度アリマシタガ、最近、所要資金、半分

シテ居ル譯デアリマス、ココニ三ノ年前マデ

ク致シマシテ、資金ニ付テ内地ノ負擔ヲ出
來ルダケ少クシタイト云フコトニ努力ヲ致

ツタノデアリマス、成ベク朝鮮ノ蓄積ヲ多

田ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

外九件委員會議錄 第三回 昭和十八年一月四日

一六

○松田(正)委員 今申シマシタ點ガ萬事ニ及ボンテ、所渭内地入ト一豊タンテ居ラヌ、

○矢野委員長　南君ニ申上ゲマスガ、モウ
間ハ是テ打切りマズ

二二三

マスカラ、明日御質問サレテ如何

午後零時三分散會

四

○松田(正)委員 今申シマシタ點ガ萬事ニ及ボシテ、所謂内地人ト一體ヲシテ居ラヌ、ソレニ付テ當局ハ努力シテ居ルト御説明ガアリマシタケレドモ、其ノ努力ノ甲斐ガ現ハレテ居ラナイ、是ハ教育ガ普及サレテ居ラナイ爲デアル、試ミニ朝鮮ニ行キ、臺灣ニ行ツテ按摩ヲ呼ンデ話ヲ聽イテ見ルト、一番能ク分ル、肩ガ凝ル凝ラヌハ別トシテ、按摩ヲ呼ンデ色々ノ事情ヲ聽イテ見ルト、真相ガ能ク分ル、此處デ申上ガルニハ洵ニ遺憾ナヤウナ點マデ分ル、一體朝鮮、臺灣ト云フ所ハ懷ニ金ヲ入レテ歩ク所デアル、銀行ヤ郵便局ニハ貯金シナイデ、親子兄弟皆金ヲ腹ニ卷イテ歩イテ居ル、是ハ朝鮮風、臺灣風ガ脱シテ居ナイカラデアル、内地ノ家族制度ガ向フヘ受ケ容レラレテ居ラナイ、日本デハ大阪ガ四億、東京ガ六億、東京ト大阪デ十億ノ貯蓄ヲヤツテ居ル、臺灣三億圓、朝鮮九億圓、二千七百万ノ人ガ九億圓、東京ハ成程大キナ會社モアリマスシ、又富ノ程度ニ於テモ違フカモ知レマセヌケレドモ、餘リ差ガ開キ過ギル、モツト是ハヤラナケレバ、今アナタハ最善ヲ盡シテ居ルト云ツテ居リマスケレドモ、結果ニ於テコンナ譯デハ、今後ノ公債消化、國民貯蓄、此ノ委員會ニ付セラレテ居ル公債ノ消化、カラ事業費ヲ多クスル、是ハ尤モダ、事業

費ノ割合ニ成績ガ舉ツテ居ルカト云フト
舉ツテ居ナイ、ドウナサレルカ、關聯シ
質問ヲ致シタノデアリマスカラ、マダ此
案ヲ調ベマシテ、参考書モ要求シテ居リ
スカラ、ソレヲ見マシテ更ニ御質問スル
會モアルト思ヒマスルノデ、牽聯致シタ
間ハ是デ打切りマス
○矢野委員長 南君ニ申上ゲマスガ、モウ
間デゴザイマシテ、明日開クコトニシタ
ト思ヒマスカラ、明日御質問サレテ如何
ゴザイマセウカ
○南委員 異議アリマセヌ
○矢野委員長 本日ハ是ニテ散會致シマ
明日ハ午後一時ヨリ會議ヲ開キマスガ、
報ヲ以テ御知ラセ致シマス
午後零時三分散會